

編集後記

この度、本学の研究紀要第14号を上梓する運びとなった。ご寄稿戴いた方々、編集に携わった方々に厚く御礼申し上げるとともに、無事、刊行できたことを喜びたい。こうした学術的な取り組みが、平成15（2003）年の開学以来途切れることなく14年間受け継がれてきたことは、当たり前のように思われるかもしれないが、関係各位の努力や情熱があってこそその賜物であると思っている。

研究紀要第14号には、課題研究論文、自由研究論文、研究報告、アカデミックアワー研究報告が掲載されている。今回の課題研究は「学校における体育・スポーツ指導」をテーマとし、学校現場での豊かな経験をお持ちで、学校スポーツコースに今年着任されたばかりのお二人に執筆戴いた。自由研究論文には、新進気鋭の若手の方々を中心に積極的なご応募を戴き、編集規程に基づく査読・審査の結果、様々な研究領域の9編の論文が採択された。研究報告にも、本学名誉教授を含む方々からお寄せ戴いた論文が5編掲載されることとなった。また、その時間自体が楽しい交流の場でもあったアカデミックアワーのご発表を戴いた方々から、報告会をほうふつとさせるような貴重な研究報告を8編お寄せ戴いた。

今回、たくさんの投稿があったことは、本学の研究水準の高さを示す一例であると思われ、嬉しい思いで一杯である。研究紀要は、大学の一つの顔だとも考えられ、本学の研究・学術的側面がますます充実・発展していく上で、その果たす役割は決して小さくないと考えられる。今回、投稿者、編集協力者を含めると、本学の大多数のメンバーが本研究紀要の発刊に関わって下さったことになるが、研究紀要が契機となって、メンバー同士の活発な議論が起きたり、新たな研究や取り組みの原動力になるといいなと思っている。お読み戴いた皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いである。

今回、下記の方々に査読、点検、英文校閲をお願いした。お忙しい中、快くお引き受け下さるとともに、原稿を丁寧に読んで下さり、有益なアドバイスを戴いた。また、編集業務は図書課にご担当戴いたが、特に、実務の中心として畑中聖子さんにご尽力頂いた。皆さんの労に深く感謝申し上げる次第である。

編集協力者：新井博，大西祐司，狩野孝之，川合英之，河西正博，黒澤寛己，黒須朱莉，
柴田俊和，新宅幸憲，Steve Jugovic，高橋佳三，高柳真人，武田哲子，田中忍，
谷川尚己，田村徳子，佃文子，仲宗根森敦，西野知子，瀬屋光男，林綾子，林弘典，
藤林献明，藤松典子，山本達三，吉川文人，吉倉秀和

紀要編集専門委員会委員長 高柳 真人